



# 記者手帳

廃プラ輸出事業は、激流に飲み込まれそうになっている。

世界的な株価の大幅変動に輪をかけた原油値下がり、10月16日には、米国の先物相場で1バツ70バツ割れを起したことがきっかけとなり、ユーザの買い控えが増えているためだ。

確かに、時間が経過するほど原油が下がる事が明らかで、廃プラ市況もダウンすることは間違いない。すでに9月に入り、中国のPPとPEの廃プラ相場は、1キログラム当たり15円以上も下がった。現在まで下落傾向は

## 輸出事業者が業界再編

格が下がることを期待して買い控えを始めていた。今は、加工機械を動かすほどの赤字になってしまつたため、極力装置を稼働させない。そのような背景もあり、廃プラ加工の輸出企業は、中国で倒産が相次いでいるという。

は、零細企業が多いこともあり、売り値が上がるまで耐えきれず、次々と売っている。日本の廃プラ輸出量は、00年から07年の間で、約30万トンの間に約152万トンの5倍以上に増えた。その中の9割以上が香

格が下がることを期待して買い控えを始めていた。今は、加工機械を動かすほどの赤字になってしまつたため、極力装置を稼働させない。そのような背景もあり、廃プラ加工の輸出企業は、中国で倒産が相次いでいるという。

と3倍以上に伸びた。この650万トンは、世界各国の廃プラ輸出货量の7割程度に当たるといふ。中国輸入量の中で、日本の廃プラ割合は、00年の15%から07年の23%と、8%近くも伸びた。欧米から運ぶよりも距離的に日本が有利だからだ。

中国の激流の中で、廃プラ利用者の業界再編が始まった。日本から廃プラ輸出をしている社長は「中国では小ロットの事業者がつぶれて大きなロットの会社が残る。同じ種類を大量に定期的に運べる企業が日本でも生き残る」とつぶやいた。(※)

(※)